

ふくしま 市議会 だより

VOL.231 令和8年8月1日発行



写真提供：福島県立橘高等学校写真部 桑原 悠成さん
テーマ：わたしの好きな福島市 「帰り道」
撮影場所：市民センター前

－ 主な掲載内容 －

- ・ 定例会議の概要など…… P 2
- ・ 常任委員会の審査内容… P 3
- ・ 一般質問…………… P 4～P 6
- ・ 議案等の審議結果…………… P 6
- ・ 政務活動費報告など…… P 7
- ・ トピックス…………… P 8

定例会議

令和8年度補正予算など 25件可決・承認・同意 ～6月定例会議の概要～

令和8年6月市議会定例会議を、6月1日から18日までの18日間にわたり開催しました。

定例会議初日の6月1日には、令和8年度一般会計補正予算など議案18件及び報告8件が市長から提出されました。

5日から4日間にわたり行った一般質問には14人の議員が登壇し、市政の諸課題に関する質問を行いました。

最終日の18日には、7件の追加議案が提出されたほか、各常任委員会における所管事務調査の委員長報告を行いました。

各議案について委員長報告、討論、採決を行い、提出された議案は、いずれも原案のとおり可決または承認、同意しました。



活動報告

常任委員会(所管事務調査)

	総務常任委員会	経済民生常任委員会
テーマ	市民が安心して過ごせる避難所に関する調査	国際会議観光都市認定による効果・影響に関する調査
期間	令和7年10月～令和8年5月	令和7年10月～令和8年5月
目的	多様化する市民ニーズへの対応と避難所の環境の向上に資するため。	地域経済の活性化や知名度向上に資するため。
提言の 主な内容	トイレや入浴施設のさらなる充実に取り組むとともに、避難者同士の交流の場を確保し避難所内コミュニティの形成を図ることで、避難者の居場所づくりに取り組むべき。 食事の提供を通じた役割創出により、避難者の心身の健康維持に努めるべき。	5年後、10年後を見据えたMICE誘致の戦略的な計画を策定し、観光コンベンション協会や県と連携したオール福島県で取り組む誘致体制を推進すべき。 受け入れ施設の充実化を図るとともに、本市の資源を生かし、観光と一体となった福島市版ユニークベニユーの開発を積極的に行うべき。

常任委員会の所管事務調査の結果を取りまとめた政策提言書を、市長へ提出しました。

今後、対応状況や結果の報告を求めてまいります。詳細はP.8をご覧ください。

人口減少対策に関する 調査特別委員会

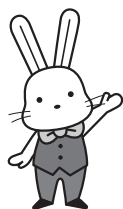
これまでの活動では、本市の人口の現状や、人口減少対策の主な取り組みを聴取したほか、今後の調査内容について協議しました。令和9年6月定例会議での委員長報告を目標として、引き続き調査検討を進めます。



福島駅東口再開発について 全員協議会を開催

5月21日、市議会全員協議会を開催し、福島駅東口の再開発事業について、工事費の高騰による概算事業費の上昇と、高騰する工事費に対応した見直し内容について説明を受け、その後質疑を行いました。





各常任委員会に付託された議案審査の主な内容を紹介します。

総務

非常備消防施設 解体工事

老朽化等の理由により、消防用防火水槽 1 基および火の見やぐら 2 基の解体撤去工事を実施する。

(主な質疑と答弁)

問：市内に設置されている火の見やぐらの数は。

答：155基。今回解体する 2 基は使用頻度が少なく、老朽化も顕著であるため解体に至った。

問：消防団員の招集に火の見やぐらが使われていたが、現在の招集方法は。

答：現在は、メールにて消防団員に連絡し、招集している。



文教 福祉

福島市介護保険条例の一部 を改正する条例制定の件

令和 7 年度の給与所得控除額を引き上げる税制改正により、住民税非課税者の増加が見込まれる中、一部の被保険者については住民税が非課税であっても介護保険料算定上は課税とみなされ、保険料が増額する場合がある。

このため、令和 8 年度の介護保険料については特例的な減免措置を実施することとしている。

このような状況を踏まえ、税制改正等により減免対象者となることが明らかな場合には、これまで必要であった申請書の提出によらず一括して減免できるよう、介護保険条例を改正する。

(主な質疑と答弁)

問：減免対象者への通知は。

答：賦課決定通知に減免対象者とわかるよう記載する予定。

経済 民生

福島市民家園条例の一部 を改正する条例制定の件

(主な改正内容)

(1) 民家園の設置目的の改正

「地域振興」を加え、活用の幅を広げる。

(2) 旧広瀬座、古民家の貸館関連規定を追加

(3) 旧広瀬座入館料(見学科)関連規定を追加

(主な質疑と答弁)

問：民家園の設置目的の改正で「地域振興」を加えた理由は。

答：条例改正の目的は、古民家を保存するだけでなく、地域資源として積極的に活用し、地域振興につなげていくためである。

特に、再整備を終えた旧広瀬座については、国指定重要文化財としての価値を広く知っていただくとともに、地域資源として積極的に活用することで、交流人口の拡大や地域の賑わい創出につなげたいと考えている。

建設 水道

下水道管路の全国特別 重点調査に伴う補修事業

八潮市の道路陥没事故を受け実施した大規模下水道管路全国特別重点調査により確認された、要対応箇所(腐食、ひび割れ、漏水等)の補修工事を実施する。

(主な質疑と答弁)

問：当該工事の財源は全額企業債を充てるということだが、全国的な調査でありながら、国庫補助金の対象にならないのか。

答：今回は国庫補助金の対象外であるが、特例的に企業債の借入れが可能となり、次年度以降に返済する元金、利息の財源に一般会計からの繰出金の対象になる予定。一般会計では、元利償還金の約 40% が普通交付税として市に交付されるため、間接的に国からの支援を受けることになる。

問：来年度実施予定の改築工事は、国庫補助金の対象になるのか。

答：改築工事は、国庫補助金の交付対象になる予定。今後、国に対し要望を行う。

一般質問 Q & A

●記事の内容 掲載している質問・答弁は要約しています。詳しくは録画中継や会議録をご覧ください。
●録画中継 各記事の二次元コードから、録画中継をご覧いただけます。



やまだ ゆたか
山田 裕

Q 物価高騰において、

子どもたちの栄養不良、健康悪化を考慮し夏休み中に昼食提供を行う自治体があり、実施を検討すべきが見解は。



A 夏休み期間中の昼食提供について他自治体でさまざまな取り組みが行われていることは承知している。令和7年度の調査で、放課後児童クラブ98施設中36施設で、夏休み期間中に昼食を提供している。また、子ども食堂が市内各地区の60カ所以上において、食事支援や学習支援などの活動が展開されている。これらの現状を踏まえるとともに、夏休み期間中の子どもたちの実情や他自治体の取組状況などを鑑み考えていく。



わたなべ としひこ
渡辺 敏彦

Q ツキノワグマ対策

について、現在の緊急銃猟体制は盤石なのか、捕獲、駆除状況を含めて見解は。



A 緊急銃猟実施に向け、必要な物品購入や保険加入、実地訓練など体制を整備している。6月の本市初の緊急銃猟では、安全面を優先し麻酔銃、罠設置での捕獲を試みたが、捕獲に至らず警戒体制に切り替えた。引き続き関係機関と連携しながら市民の安全確保に努める。今後は、住宅地や屋内での麻酔銃による捕獲体制の強化や、情報発信体制整備による迅速な情報提供に努める。他自治体での緊急銃猟の事例も踏まえ、クマの捕獲、駆除体制の強化につなげる。昨年度の駆除頭数は39頭、今年度は2頭である。



たにじ まこと
丹治 誠

Q 幼児教育保育施設

でのカスタマーハラスメント対策について、私立施設への対応は。



A 私立保育施設へは、基本的にそれぞれの施設での対応となり、助言や巡回支援により対応してきたが、10月1日より、すべての保育施設においてカスタマーハラスメント防止のための対策が必要となることから、本市職員の対策基本方針などを参考に、保育施設向けのガイドラインを作成、公開し、共通の対応を図れる体制を整備する。ガイドラインについては、出来上がり次第、速やかに公開していく。保育士が安心して働ける環境を整えるとともに、保育の質の向上を図っていく。



いしやま なみえ
石山 波恵

Q 健康寿命延伸につ

いて、市民の機運醸成に向けた取り組みが必要と考えるが見解は。



A 機運醸成には、健康づくりを身近なものとして捉え、継続して取り組める環境づくりが重要なため、3つの取り組みを進めていく。運動習慣の普及と定着のため、日常生活の中で無理なく取り入れやすい運動習慣の周知、啓発を図る。健康や医療に関する情報を入手し理解して活用するヘルスリテラシーの向上として、効果検証を地域と協力しながら行う。スマートフォンアプリを活用し、気軽に健康づくりを始められる仕組みづくりを進める。これらを進め、健康づくりが地域に根付くよう取り組む。



むらやま くにこ
村山 国子

Q 前年度繰越金や国

民健康保険財政調整基金を活用し、国保税負担軽減をすべきだが見解は。



A 令和11年度に保険税水準の県内統一が実施されることから、段階的に引上げを行う必要があり、今年度の税率改正では、負担額が急激に増加しないよう前年度繰越金を許容の範囲で活用し、引き上げ幅を小さくするよう努めた。財政調整基金は、医療費の突発的な増大や県内統一に向けた段階的な移行期の激変緩和のため計画的に活用する必要がある。今後とも急激な負担増とならないよう財政調整基金や繰越金を計画的に活用していく。



さいとう まさお
斎藤 正臣

Q 福島駅西口駅前広

場の駐車場の収容台数及び一般車降車場の台数不足を恒常化させないよう再設計が必要だが見解は。



A 西口駅前広場は、駐車場および降車場の必要台数や適切な交通動線など、将来的な需要を見据えた再設計が必要と認識している。単なる交通課題の解決にとどめず、駅東西を一体的に捉えた回遊性を意識し、人が集まり、活気が生まれる仕掛けづくりを進め、都市の魅力の最大化を図る。交通機能の最適化とまちの魅力が向上する好循環を確かなものとし、快適で賑わいあふれる駅周辺空間の実現を目指す。



かわまた やすひこ
川又 康彦



Q 東口再開発事業に

ついて、市側の申し出によりコンベンション部分の取得を中断し事業が継続できなくなった場合、組合側から損害賠償の対象となる可能性があると考えるが見解は。

A 仮に取得を中断した場合、事業継続が難しくなる可能性があり、その場合、再開発組合は借入金返済、権利者への従前資産の補償、交付を受けた補助金など、230億円を超える債務を負うことが想定される。他市でも損害賠償請求を受けた事例があり、本市が相応の損害賠償を請求される可能性はあるものとする。



おがた たけし
尾形 武



Q 福島駅前交流・集

客拠点施設について、有利な起債の合併推進債や国庫補助を活用するとしているが、施設取得の市の実質負担額の圧縮はどの程度か。

A 合併推進債は、取得額327億円の90%に当たる294億円が起債でき、元利償還金の合計は利子95億円を加えた389億円、その40%の156億円が普通交付税として措置される見込み。従って、取得額と利子を合わせた市負担総額から交付税額を差し引いた市の実質負担額は266億円、実質負担率は63%で、37%程度の縮減を見込む。国庫補助の活用により、さらに圧縮を図れるよう取り組んでいく。



さとう せいいち
佐藤 勢



Q 分野別意見交換会、

公開型対話集会で出てきた市民の意見や要望について、未来戦略本部でどのように政策に反映していくのか。

A 未来戦略本部は、本部会議と幹事会で構成。市民の意見やアイデアは、未来戦略本部で共有し、対応方針などを決定する。客観的データを用いた分析により事業や取り組みとして企画、対応方針を幹事会で協議調整し、本部会議で決定することで、次の政策や予算などに反映させていく。決定した方針などは、市ホームページなどで公表し、結果を共有する予定。客観的データと市民の思いを掛け合わせ、市民とともに描く未来に向けた政策を立案していく。



ささき ゆう
佐々木 優



Q 東口再開発事業に

ついて、建設後に財政が圧迫され、市民サービスが削られるリスクについての見解は。

A 再開発事業に限らず、大規模事業については、市民サービスに一定の影響を及ぼす可能性は否定できないと認識している。そのため、将来にわたる負担を十分に精査し、必要な市民サービスを確保しながら、持続可能な財政運営との両立を図ることが重要と考えている。再開発事業は本市の将来を見据えた必要な投資であり、福島駅前の再生と地域活性化に向けた重要な取り組みであるため、事業費を可能な限り圧縮させながら、着実に、早期に進めていく。



えんどう こういち
遠藤 幸一



Q 東口再開発事業に

ついて、市民参加型ワークショップ開催や、オンラインによる情報公開を強化し、期待感を高める取り組みを推進すべきだが見解は。

A 工事期間中は、市民参加の取り組みを積極的に行う。特に、民間企業との連携は、オープン前から施設の活用方法などについて市民の声やアイデアを斬新な方法で落とし込むワークショップなどの開催も検討している。市の取り組みについてオンラインにより随時発信することで、オープン後の利用機会の増加にもつなげ、より利用しやすい施設であると思ってもらえるよう事業を進めていきたい。



いかい どう
二階堂 武文



Q 給食配食員について

て、配置基準を直ちに見直し、一番苦労している100から300人未満の学校にも配置すべきと考えるが、財政状況でその実現が可能なのか、実施時期の見直しを含めて見解は。

A 100人以上300人未満の学校からの配置要望や保護者負担により配置している学校があることから、配置基準の見直しは喫緊の課題と捉えている。今後、学校施設の改修や更新が見込まれることから、必要な財源確保に努め、配置基準の見直しを行い、早期に新たな基準による配食員の配置ができるよう進めていく。



みうら ゆみこ
三浦 由美子



Q 中央学校給食センター管轄外でも、適合する子どもであれば、平等にアレルギー対応食を提供するべきだが見解は。

A 学校給食は、望ましい食習慣を身に付け、健康な生活を実践する力や、感謝の心と郷土愛を育めることから、安全でおいしい給食提供が重要と考え、中央学校給食センターで4品目のアレルギー対応食の提供環境を整え、受配校への提供を開始した。中央学校給食センターから全学校への提供の可能性や今年度策定の学校給食基本計画で、今後の食物アレルギー対策を含め学校給食のさらなる充実に向けて検討を進めていく。



すがわら みちこ
菅原 美智子



Q 教職員の命と働き方を守り、子どもたちが安全に遠征できる環境を整えるため、次期予算に向け学校部活動の移動安全確保に特化した抜本的な予算措置を行うべきだが見解は。

A 一定以上の大会は今後も補助金を継続する予定である一方、部活動の地域展開を推進し、令和10年度内に、休日は完全に地域展開する計画である。休日の地域クラブ活動などは参加者からの会費などで運営するため、交通費なども保護者に負担いただくものと考えている。安全に遠征できるよう、市としてどのような支援が可能か、国施策、先行自治体例などを踏まえ、調査研究していく。

議案等審議結果

～全会一致で可決等されたもの～

区分	件名
市長提出	8年度補正予算 一般会計／下水道事業会計
	条例改正 監査委員条例及び上下水道事業の設置等に関する条例／職員の給与に関する条例／福島復興再生特別措置法に基づく特定事業活動における固定資産税の課税免除に関する条例／地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例／介護保険条例／東日本大震災による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例／東日本大震災による被災者に対する介護保険料の減免に関する条例
	人事 農業委員会委員任命／固定資産評価審査委員会委員選任／財産区管理委員選任
	その他 専決処分承認（令和7年度一般会計補正予算／市税条例の一部を改正する条例制定）
委員会、議員提出	その他 専決事項指定の件の一部改正
	意見書 防災庁の防災局及び防災大学校（仮称）の福島市への設置を求める意見書／地方財政の充実・強化を求める意見書／「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書
請願	国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書提出方について

～電子採決システムによる採決結果～

（○：賛成、×：反対）

	会派名		真政会										真結の会							市民21			公明党		日本共産党		無所属										
区分	議員名 件名	採決結果	鈴木哲	浦野洋太朗	佐藤勢	七島奈緒	石山波恵	白川敏明	萩原太郎	大平洋人	小松良行	半沢正典	黒沢仁	渡辺敏彦	菅原美智子	二階堂利枝	根本雅昭	齋藤正臣	川又康彦	鈴木正実	二階堂武文	尾形武	真田広志	穴戸一照	遠藤幸一	佐原真紀	沢井和宏	羽田房男	高木克尚	高木直人	丹治誠	後藤善次	小野京子	山田裕	佐々木優	村山国子	三浦由美子
市長提出	8年度補正予算 国民健康保険事業費特別会計	○		○					○				○							○						○		○							×		○
	条例改正 市税条例	○		○					○				○							○						○		○							×		×
	条例改正 民家園条例／児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等／家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例／幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例及び幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例／国民健康保険税条例	○		○					○				○							○						○		○							×		○
	陳情	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求めることについて	×		×					×				×						×						×		×							×		×

- ・採決結果の○は、提出された議案等に対して賛成多数で可決・採択されたことを示しています。
- ・採決結果の×は、提出された議案等に対して賛成少数もしくは賛成者なしで否決・不採択されたことを示しています。

市議会だよりの表紙写真は、 高校生が撮影しています



令和7年8月1日発行号から、テーマ「わたしの好きな福島市」として、市内高等学校写真部の皆さんにご協力いただいています。

高校生の感性による一枚を次号もお楽しみに！

各議員氏名の下部に記載の二次元コードから、市議会ホームページの録画映像をご覧ください。

(公開時期は令和8年8月末日まで)



【記事訂正】

前回第230号(令和8年5月1日発行)P.6の掲載記事に一部誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

誤：感震ブレーカーの普及促進に関する計画

正：感震ブレーカーの普及推進に関する計画

福島市議会の個人情報の保護に関する条例の施行状況について

福島市議会では、議会における個人情報保護制度の適正運用を図るため「福島市議会の個人情報の保護に関する条例」(令和5年4月1日施行)を制定しております。条例の規定に基づき、令和7年度の福島市議会の個人情報の保護に関する条例の施行状況について下記のとおり公表いたします。

(令和7年度実績)

- ・個人情報ファイル簿掲載の「個人情報ファイル」：保有実績なし
- ・「開示請求」・「訂正請求」・「利用停止請求」・「審査請求」：実績なし

※福島市議会の個人情報の保護については、市議会ホームページをご覧ください。

詳しい内容は
こちらから ▶



令和7年度政務活動費の収支実績をお知らせします

政務活動費は、福島市から議員個人ではなく各会派に対して所属議員1人当たり月額10万円が交付され、会派の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として活用し、残金が生じた場合は返還しています。令和7年度の収支実績は、下記のとおりです。

＜福島市議会 令和7年度(令和7年4月～令和8年3月分) 政務活動費収支実績＞

単位：円

会派名	真政会 ※	真結の会 ※	ふくしま市民21 ※	公明党福島市議団	日本共産党 福島市議会議員団	社会民主党・ 市民連合	政新会 (令和7年7月まで)	一心会 (令和7年7月まで)	全体合計
議員数 (年度途中人数変更あり)	10人→11人 →12人	9人→10人	6人→5人	4人	3人	1人	1人→0人	1人→0人	35人
収入内訳									
交 付 額	13,200,000	11,600,000	6,200,000	4,800,000	3,600,000	1,200,000	400,000	400,000	41,400,000
利 子	3,929	4,762	3,414	2,260	1,762	1,230	742	660	18,759
収入合計	13,203,929	11,604,762	6,203,414	4,802,260	3,601,762	1,201,230	400,742	400,660	41,418,759
支出内訳									
研 修 費	0	0	30,000	10,000	0	0	0	0	40,000
活 動 旅 費	5,780,150	3,659,420	710,850	498,640	0	0	0	0	10,649,060
広 報 費	4,466,090	5,227,200	2,825,966	2,919,493	2,423,310	0	0	0	17,862,059
広 聴 費	17,900	0	0	0	0	0	0	0	17,900
資料購入費	65,120	11,472	130,493	69,702	207,932	46,950	0	0	531,669
事 務 費	2,094,680	1,049,318	1,140,896	568,574	595,842	522,328	56,540	36,080	6,064,258
支出合計	12,423,940	9,947,410	4,838,205	4,066,409	3,227,084	569,278	56,540	36,080	35,164,946
収支差引額(市への返還金)	779,989	1,657,352	1,365,209	735,851	374,678	631,952	344,202	364,580	6,253,813

※調査研究費、要請・陳情活動費、会議費、資料作成費については、各会派とも支出がありませんでした。

※真政会…令和7年7月まで10人、8～11月まで11人、12月から12人 真結の会…令和7年7月まで9人、8月から10人

ふくしま市民21…令和7年5月まで6人、6月から5人

政務活動費の収支報告書、領収書などは、市役所1階の市民情報室や市議会ホームページをご覧ください。

詳しい内容は
こちらから ▶



トピックス1

令和8年度春季議会報告会・意見交換会を開催しました

議会基本条例に基づき、議会活動や市政に関する情報を市民の皆さまと共有し、市政全般について意見を交換するため、毎年春と秋に議会報告会と意見交換会を開催しています。

令和8年春季は、5月8日から11日にかけて、吉井田支所、松川支所、清水支所、信陵支所で開催しました。

いただいたご意見は、議員全員で共有し、今後の議会活動に生かしてまいります。

意見交換会でのご意見の一部

- まちづくり基本ビジョンに関して、今後の自分が住む地区の発展に期待したい。
- 貧困や一人暮らし高齢者の課題について考えを聞かせて欲しい。
- 建物や道路以外に、街路樹等についても歩行者目線で整備して欲しい。
- ゴミ集積所の乱雑さや分別意識の醸成について伺いたい。



詳しい内容は
こちらから



9月定例会議開催予定(9月1日～24日)

日	月	火	水	木	金	土
		1 本会議(定例日)	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
	本会議(一般質問)		本会議(一般質問) 決算特別委員会(全体会)		常任委員会	
13	14	15	16	17	18	19
	常任委員会	決算特別委員会 (分科会)		決算特別委員会 (全体会・分科会)		
20	21 (敬老の日)	22 (休日)	23 (秋分の日)	24	25	26
			本会議(採決等)			

- ◆本会議、委員会は、どなたでも傍聴いただけます。
委員会の傍聴など詳しくはホームページをご覧ください。
- ◆9月定例会議で審議する請願・陳情の締め切りは、
9月2日(木)午前11時です。

◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。

〒960-8601 福島市五老内町3番1号
電話 024-525-3776 FAX 024-534-2520
福島市議会活動推進検討会あて



◆市議会ホームページをご覧ください。

<https://www.city.fukushima.fukushima.jp/gikai/index.html>



発行：福島市議会 編集：活動推進検討会

トピックス2

市の重要課題の解決に向けて ～市長へ政策提言～

6月18日に、常任委員会で行った所管事務調査の結果を取りまとめた政策提言書を市長に提出しました。委員長から提言内容について説明し、課題に対する認識や今後の取り組み方針を確認しました。

提言書は、総務常任委員会の「市民が安心して過ごせる避難所」と、経済民生常任委員会の「国際会議観光都市認定による効果・影響」に関する提言をまとめたものです。

今後、対応状況や結果の報告を求めてまいります。



提言書の詳しい内容はこちらから ▶



6月定例会議 傍聴者インタビュー



佐久間 通さん

Q 傍聴の理由を教えてください

A 生活に直結する市政について関心があり、傍聴に来ました。

Q 議場の印象は？

A 見やすいし、雰囲気も良いですね。録画映像では伝わらないやりとりもあり、興味深いです。

Q 議会だよりをご覧の皆さんへ

A 私の周囲でも傍聴制度を知らない人が多いです。もっと多くの方に知ってもらいたいです。

全国市議会議長会 市議会議員表彰

全国市議会議長会総会において、次の議員が表彰され、6月1日の本会議開会前に表彰状の伝達を行いました。

【議員在職20年以上表彰】

黒沢 仁 議員

【議員在職10年以上表彰】

根本 雅昭 議員 斎藤 正臣 議員
川又 康彦 議員 佐々木 優 議員
沢井 和宏 議員 鈴木 正実 議員